

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 加藤敏昌
幹事 青山敏郎
会報委員長 小池 宗

No. 47

ROTARY BRINGS HOPE ロータリーは希望をもたらす

1986～87年度

RI会長 M.A.T. カバラス

第241回例会 昭和62年6月9日(火) 雨

◇“我等の生業”

◇出席報告

会員 56名 出席 44名
出席率 78.57%
前回 6月2日 (修正出席率)98.21%

◇ビジター紹介 9名

◇ニコボックス

吉田 節美君 6月6日1人息子が結婚しました。今後共よろしくお願ひします。

渡辺 辰夫君 本日のスピーカー 高岸さんをおむかえして。

鈴木 正男君 このたび、日本公認会計士協会東海会会長に就任いたしました。何とぞよろしくお願ひ申し上げます。尚、申し訳ありませんが本日早退させていただきます。

加藤 正義君 組合特別会合の為早退致します。

笹野 義春君 早退させていただきます。

◇武内国際奉仕委員長報告

ボンベイRCよりポリオプラスプログラムとして「世界の人形」展示会の参加依頼が当クラブにありましたので、ご寄附いただける方は日本人形をお持ち下さい。ご協力をお願いいたします。

◇青山幹事報告

1. 本日例会終了後、5周年記念実行委員会を開催いたしますので、実行委員の方は、2F扇の間にお集まり下さい。
2. ロータリーの友6月号がきておりますので、お帰りをお持ち下さい。

◇加藤(敏)会長挨拶

過日、当クラブが国際奉仕委員長会議を主催した際、その責任者である「森パストガバナー」は、国際奉仕に使う資金は本来なら本部の「W・S・C」に送金し、そこから配分するのが立前ですが、当地区は、之を行わず、独自に適当な国にささやかな援助を続けてお

ると発言されました。赤津小委員長は、之に穏やかな反論を加えられました。「森パストガバナーの言われている事は、いささか本質と離れています。「ロータリー」の奉仕というものは総てあらゆる分野にわたり「Person to person」が本来の姿である」と断言され、さすがの「森パストガバナー」も赤面しておられました。私も赤津小委員長の考え方に全面的に賛意を表します。

国際奉仕は相手国の国情により非常に難しい事で、日本的感覚では非常な困難を伴います。それは新聞紙上に時々載りますので、皆さん御承知の事と存じます。現在経済摩擦が日本を中心にして色々論議されていますが私の友人で18年程米国に滞在した者が「Boston tea party」以来自由貿易が米国の国是であると申しておりました。最近債務国になったと騒いでいますが米国の海外に投資している含み資産を考えれば、やはり巨人大国です。今、形振りかまわず我が国に自由化を求めて参りますが、自らの国の軍隊に禁煙令を施行したのに、有害である事を承知で我が国に煙草の自由化を求め、最近この中に有害物質が入っている事も報せられました。事柄は小さく見えるかもしれませんが、「小阿片戦争」のように思えてなりません。交通安全に關して過去に色々当クラブも行いましたが、相変わらず愛知県の汚名は無くなりません。警察自身も、もっと工夫し打つ手があるように思えます。

私は、史家ではありませんが真実の一つと思います。一国の教科書にいかなる不都合があったか知りませんが、他国から教育の内容にまでに亘り「クレーム」をつけられ、その対応で大騒ぎをする程度の力しか我が国にはありません。意地悪婆さんが、阿呆呼ばわりをする政治家が企画するような事は、凡そ改

悪につながるでしょう。教育に行政が口出しをしたら、ろくな事にならない事は過去の事実が立証しています。私は、日本が経済大国だとも、先進国だとも思いません。すべて砂上の楼閣で、今こそあらゆる面で自国の整備に力を注ぎ、無駄な金をばらまくのを止めた方が、日本の将来により良き効果をもたらすと考えています。教育一つ捉えてもいじめられる生徒、殴られる教師にも冷静に見ればそれなりに納得できます。

かつて私についた「キャデー」の老婆が、「また田んぼを一枚売らなければならない」と独り言を申しましたので、私は何故と疑問を投げ掛けました。老婆は、「車を買ってやらないと、子供が大学へ行きますから」と申しましたので嘔然としました。

深夜、「アルバイト」帰りの程度の悪い大学生が、オートバイ事故を起こして時々やってきましたが、「アルバイト」の内容は「ウエーター」か「スナック」の「バーテン」をやっております。車購入代か、遊びに使う金目当ての「アルバイト」でしょうか、事の是非は別として、少なくとも、もう少し知的な「アルバイト」は出来ないのでしょうか。

◆ 講演

“企業の活性化”

㈱セントラル経営センター 取締役企画部長
高岸 義昭 氏 (紹介 渡辺君)



1. 東海道新幹線構想がもちあがった時、当時の島技師長は、わが国的高速列車はぜひ、電車型でと、大方の人が賛成していた機関車牽引方式をしりぞけた。その根拠は、電車型だと各車両にモーターがついているので、この力を結集すれば、関ヶ原の16/1000という急坂も、平地と同じ高速で疾駆できるというものであった。これを私の長年の診断経験から企業経営になぞらえてみると、どれほど立派な経営者の方であっても、従業員50人を直接引っばっていくのは大変だということである。ちょうどヨーロッパ各国の特急列車が機関車型なのに似ている。牽引には途方もない馬力があるのである。ところが従業員のめ

いめいに“ヤル気”というモーターをつけて貰って、経営者が先頭車になって“進め!”と方向を示せば、どんな難所も切り抜けられるように思う。

2. 活性(=ヤル気)は、従業員各自が、仕事の改善を考え実行していく過程に自ずと出てくるものである。要は“考える”“考えさせる”ことである。考えることは面白い、いや楽しい。例えば、夏山登山を同僚と発案したとしよう。地図を購ってきてお互いにルートを確認しあい、時刻表で出発列車をきめる。持参物は何と、つつい重い荷物をつくってしまう。そして重いけれどヤッホーヤッホーと山道を踏んでいく。これと同じ重量の荷を山小屋に運ぶジュース運びのオジサンがいる。彼は生活のためと思ってガマンして運ぶ。同じ行為(重量物を山頂に運ぶ)をしながら、一方は楽しいし、片方は苦しいと思っている。その違いは、自発的に考えたか、命令されたか、できる。

3. 活性化とは、こうした各自の考える習性が、集団、とくに小集団でなされると盛り上がることである。いま流行のTQCはこうした小集団の特性と自発性をくみあわせた素晴らしい仕組みなのである。自分の提案が採用されると嬉しい。自分が言い出したことは一所懸命やる。頑張って目標をクリアしたらバンザイ!を叫ぶ。これをみんなで、ああでもない、こうでもない、ワイワイガヤガヤやるのだから楽しいにきまっている。

4. 線香も焚かず、〇もいらず”では沈んだ会社となりがちだ。活性化した会社とは、エキサイティング(興奮)であり、エンターテイメント(もてなし心)があり、仕事をエンジョイしている。この三つはバラバラではなく、活性化した会社は三つを一体として具有している。これを英語の頭文字をとってE会社という。このごろ、中小企業でも大企業病ともいうべき症状が表われてきたのが心配である。

◆ 例会変更のお知らせ

名古屋名北RC 6/24(水) 夜間例会及びF.S.
M.の為、PM 5:30 より
名古屋西RC 6/25(木) 夜間例会及び懇親
会の為、PM 6:00 より

◆ 次回例会(6月16日)

講演 “帝王学”
名城大学教授
勝瀬 幸貞 氏 (紹介 矢野君)

◆ 次々回例会(6月23日)

講演 “美の空間”
女流画家協会会員
田村 能理子さん (紹介 吉田君)